

〒602-8580 京都市上京区御所上立命館西大路門外  
TEL.075-251-3185 ◎同志社大学体育会編成課  
**Doshisha Sports アトム**  
平成30年(2018) 開大戦 ラグビー号外  
11/25 日曜日 発行人 山本大輔  
http://doshisha-sports.net/ 編集人 森戸典哉

# ついに迎えた、関西リーグ最終節 同志社アトム

## 紺グレ背負い挑む最後の80分



# 第108代主将



## 修平

# 苦節乗り越え先頭に立つ

**「山口のプレースタイル」**  
183歳の長身に100も越えというFWにも劣らぬ強靱(きょうじん)なフィジカルを持ちながら、繰り出されるステップは切れ味抜群だ。さらに50km/hとスピードも申し分ない。慶大との定期戦では2つの独走トライを決めている。今季リーグ1トライこそないが、強靱のディフェンスラインを築いてきた。体格、スピード、ステップを兼ね備えた主将の最後の活躍に期待がわく。

**山口修平**  
(やまぐち・しゅうへい)  
1996年7月21日生まれ。大阪府・同志社西里高校出身。ポジションは、CTB。チャームポイントは、2017年のジャパンセブンズで好プレーをみせ、トップリーグチームのスカウトの目を引いた。卒業後トヨタ自動車ヴェルブリッツ入団予定。183cm・100kg。中学部4年。

**主将までの道のり**  
昨年の夏合宿、東芝杯の練習試合でこのことになった。後からタックルを受けた瞬間、パキッと膝を曲げた。左足は「左足がブランク」となっていた。左足目の脱臼もなかった。合宿最終試合での怪我で2ヶ月後に復帰した。リーグ戦出場は練習試合と12月の復帰を自覚したが、昨年のリーグ戦は負け続けた。前主将・野中(いづみ)が

ボ卒(いづみ)の「修平の復帰のために」という言葉を胸に必死で練習。出場は叶わなかったが、12月には「リーグ」のメンバーに選ばれた。通算半年かかると言われる怪我を3ヶ月で治してみせた。2018年度、監督・コーチの推薦を受け16名をけん引する主将として復帰した。



# 「このままでは終われない」

主将になっても信念を曲げることとはなかった。ひたすら全力でやる。リーダー経験のない中でチームのために力を尽くしてきた。開幕から黒星を重ね窮地に立たされた。迎えるリーグ最終節、「二休戦」を軸に165名全員をまともな上げ紺グレの頂点に立つ男が勝利へと先導する。

グラウンドにたずむ山口(立命館大戦)【切り込み写真】近大戦で、ゲインを試みる(撮影者・安本夏望)

**曲げない信念**  
山口修平は大きな体と持ち前のスピードから生まれ、怪力を誇る。怪力なラグビーマンは名を馳せ、強いグラウンドに立つ。協調性を大切にしている。山口修平は、中学から信じてきた。何事にも全力で取り組む。この信念が今の自分への人間性を養った。Aチームに入らず、大学生の壁の高さを思い知った。1年生を終え、2年生の春を迎えた。明大との定期戦、初めてのAチーム入りを果たした。後半30分で10点以上の差をつけられていた場面だった。相手のペナルティに対し、キックスターターを仕掛けた味方がパスを受け、一心不乱にゴールラインを目指して走り出した。Aチーム初出場にして初トライ。場所は右端、状況はヒートアップ。彼の活躍を現した美しい瞬間があった。

**チームのために、「全力」でやる**  
3年の春からは常時スタメンに座り続けていた。だが3年の夏に大きな怪我をしてしまい、12月まで戦線離脱を余儀なくされた。今年度の主将にはチームの再建という責任があった。昨年度の関西リーグの結果が芳しくなかったから。リーダーという立場を経験したことがなかったため、チームを引っ張ることは、自分にとって重たい。チームのために何をすべきか、思考を巡らせた結果、出た結論は「全力でやる」こと。自分のためではなくチームのために。チーム全体には一休戦を意図させた。今年度のチームはスローガン「Spring Up」を掲げた。1人1人が

**主将として信念を貫く**  
自分たちの中からエネルギー、リーダーシップを磨き上げ、同志社大学ラグビー部に在る全ての人を巻き込み1つのチームを作るという想いが込められた。組織力で戦うという決意をこのスローガンに込めた。結果が出ていないときこそチーム力が問われると懸念している。開幕3連敗で追い込まれた今季、チームの真価を見せる時が来た。怪我をしたときも、主将になつた後も彼はいつも100%だった。108代主将、山口修平、紺グレをその身にまとい、突き進む。(中川大)

**開大戦の見所**  
今季の開大は目星をないが、接戦を争う試合も多々決して争うことはできない。こまめに主将・西を中心としたセットプレーを武器に、主将の手振りを見せてきた。モルから今季の本物のトライを奪取する。今節もFW戦が予想される。1つ1つの接点も勝負の鍵となる。不用意な反則を犯すことができれば、流れはかき回すことができる。BKの今季は、山口の突破に期待したい。泣いても笑っても最後の80分、もう一度エネルギーを巻き上げよう。完全燃焼でシーズンを終えたい。

**夏炉冬扇**  
「チームのために戦う」。試合後の取材でよく聞かれる返答。自分以外の何かのために一生懸命になる。頭では理解しても心の底からそう思うことは簡単なことではない。記者としてのこの3年間、選手の様々な感情があらわれ出す瞬間に立ち会ってきた。結果がどうであれ最後まで「チーム」のために「戦う」選手の姿に感銘となく心打たれた。戦っていたのは選手ばかりではない。必死なのはスタンドにいるのは仲間たちも。メガホン片手に声を張り上げ、時には飛び跳ねる。毎試合スタンドで応援歌を歌い、選手を鼓舞する彼らも同様に戦っている。応援というものが持つ力の大きさは計り知れない。今季、松本山雅FCがクラブ史上初のJ2優勝を果たした。最終節の90分を知らせるホイッスルが鳴るまで優勝の行方が分からなかった。そんな大混戦を制したチームの力があった。ヘッドコーチの時もオレたちはこころを込めて叫ぶ。山雅が好きだから。彼らが歌うチャントが地鳴りのように響く。スタジアムは異様な雰囲気によって優勝を成し遂げられたかどうかは確かではない。だが、スタンドにいる13番目の選手たちの声は間違いなくピッチで戦う選手を後押しした。彼らもまた山雅のために戦っていた。誰かのために一生懸命になることは簡単ではない。それでも例えチームの結果が思わしくなくてもその声、思いがチームのために響くかもしれない。勝利を手にした時の歓喜と勝利を逃した時の悔しさを選手と共に歩み、共に戦ったからこそ味わうことができる感情があるはずだ。だからこそ最後まで選手とともに戦おう。(岡本真生)

対戦校	京産大	天理大	関学大	立命大	近大	大體大	関大
スコア	●26-28	●0-59	●33-40	☆24-10	☆47-26	☆31-24	11/25

**CAT COLLEGE ATHLETE TV**

日本の大学スポーツはこんなもんじゃない。  
日本の未来をささえる学生アスリートたちの今を届けたい。  
彼らはなぜスポーツに大学生活を注ぐのか？  
アスリート一人一人の生き様を描くことでこの答えに近づければ、  
スポーツは大学スポーツを本気で応援します。

SPBL からダウンロード  
App Store  
Google Play

**SPORTS BULL**

CAT COLLEGE ATHLETE TV

THE STARS 動画

CAT COLLEGE ATHLETE TV

**CORPO**

Conditioning Protein

**CORPO**

Aqua Quick-Loading



①生年月日②出身校③身長・体重④学年学部⑤チャームポイント



**ながとみ 永富**  
**CTB**  
 1996年4月4日  
 福岡県・東福岡高校  
 180センチ・90キロ  
 商学部4年  
 キュートな笑顔

**しんたろう 晨太郎**  
**副将**  
 チームの心臓であり、血液のようなパスを供給し続ける。1年生の頃からレギュラーだった。センスの塊。周りからそう称される。数多くの引き出しから、的確なパスを導き出す。周りをよく見てパスする技術は同じポジションの誰にも負けない。パスを出すタイミング、開き、全体的な選手との連携と一線を画す。昨年SOを兼任したことで、プレーにさらに幅が増えた。相手はギリギリまで引きつけてパスを出す。サイドを走らせる。相手のパスでタイミングをずらす。この男のパスでライジングの華麗なトライを演出する。

**ひらかわ 平川**  
**HO**  
 闘志燃ゆる不屈の戦士  
 負けたら力強さを見せた。断崖絶壁の壁を乗り越え、勝利に大きく貢献した。さらに、スローイングから繰り出される球は正確無比だ。初戦の京大戦ではライジングアウトのスクローからトライに繋がる一手を担った。試合中の安定したプレーはチームに希望と勇気を与えた。

**としや 隼也**  
**WTB**  
 闘志燃ゆる不屈の戦士  
 負けたら力強さを見せた。断崖絶壁の壁を乗り越え、勝利に大きく貢献した。さらに、スローイングから繰り出される球は正確無比だ。初戦の京大戦ではライジングアウトのスクローからトライに繋がる一手を担った。試合中の安定したプレーはチームに希望と勇気を与えた。



1996年7月8日  
 長崎北陽台高校  
 165センチ・97キロ  
 法学部4年  
 笑顔

**ゲームをつくるチームの心臓**  
 自分3度目のMOMに輝いた。近大戦ではそれが顕著に現れた。キレのステップで、ドリブルを決めた。さらに粘り強いディフェンスで、ノットリリーサーの役割をこなし、チームの勝利に貢献した。

**ゲームをつくるチームの心臓**  
 これからの試合も活躍が不可欠になる。同志社のラグビーは、常に中心にいる。同志社のラグビーは、常に中心にいる。同志社のラグビーは、常に中心にいる。

**ゲームをつくるチームの心臓**  
 これからの試合も活躍が不可欠になる。同志社のラグビーは、常に中心にいる。同志社のラグビーは、常に中心にいる。

**ゲームをつくるチームの心臓**  
 これからの試合も活躍が不可欠になる。同志社のラグビーは、常に中心にいる。同志社のラグビーは、常に中心にいる。

**ゲームをつくるチームの心臓**  
 これからの試合も活躍が不可欠になる。同志社のラグビーは、常に中心にいる。同志社のラグビーは、常に中心にいる。

**ゲームをつくるチームの心臓**  
 これからの試合も活躍が不可欠になる。同志社のラグビーは、常に中心にいる。同志社のラグビーは、常に中心にいる。

**堀部 直壯**  
**FL**  
 ラインアウトの中心としてラグビーを支える。チーム1の長身を生かした空中戦は、もちろんのこと力強いタックルと高い運動量が魅力だ。「スクラムで疲れていてもハードワークを求められる」とチームの誰よりも運動量に重きをおく。ラン、タックル、セットプレーと様々な能力を必要とされるが、周りの期待に応えてきた。これらの武器で活躍を続ける。



1997年4月17日  
 福岡県・筑紫高校  
 191センチ・99キロ  
 社会学部3年  
 笑顔

**安田 卓平**  
**FB**  
 ポールを持って誰にも止められない。鮮やかなステップで相手を抜き、フィジカルで勝る相手に対してもおどろかせずアタックする。洗練されたプレーは見る者の目を奪う。



1996年5月20日  
 京都府・同志社高校  
 177センチ・82キロ  
 商学部4年  
 たれ目

**高野 蓮**  
**WTB**  
 「最後は全員で勝つ、笑いたいですね」ラストイヤーに対して強い思いを語った。持ち味は、相手を出し抜くスピードだ。敵を交わして、インゴールへ一気に突き進む。誰も予断できない俊敏な速さでボールを死守する。強みである決定力で、1対1のタックルを次々に制していく。思い切った敵を振り払っていくスピード力は、チームに勢いをもたらしている。



1996年7月19日  
 福岡県・東福岡高校  
 175センチ・85キロ  
 社会学部4年  
 クールなところ

**随所で見せる確かな力量**  
 1年生から試合に出場し、着実に経験を積んだ。昨年はU-20の日本代表として世界を相手にした。積み上げられた経験に基づく確かなプレーで信頼を勝ち取ってきた。

**随所で見せる確かな力量**  
 1年生から試合に出場し、着実に経験を積んだ。昨年はU-20の日本代表として世界を相手にした。積み上げられた経験に基づく確かなプレーで信頼を勝ち取ってきた。

**随所で見せる確かな力量**  
 1年生から試合に出場し、着実に経験を積んだ。昨年はU-20の日本代表として世界を相手にした。積み上げられた経験に基づく確かなプレーで信頼を勝ち取ってきた。

**随所で見せる確かな力量**  
 1年生から試合に出場し、着実に経験を積んだ。昨年はU-20の日本代表として世界を相手にした。積み上げられた経験に基づく確かなプレーで信頼を勝ち取ってきた。

**随所で見せる確かな力量**  
 1年生から試合に出場し、着実に経験を積んだ。昨年はU-20の日本代表として世界を相手にした。積み上げられた経験に基づく確かなプレーで信頼を勝ち取ってきた。

**随所で見せる確かな力量**  
 1年生から試合に出場し、着実に経験を積んだ。昨年はU-20の日本代表として世界を相手にした。積み上げられた経験に基づく確かなプレーで信頼を勝ち取ってきた。

**中尾 泰星**  
**FL**  
 激しいタックルで相手を仕留め、すぐさまボールを奪う。密集では盾となり仲間を守る。泥臭くボールに絡みに行く姿は、まさにいよゑん。フランカーとしての役割を完璧にこなす。「チームのために1番手を張っている自信は」



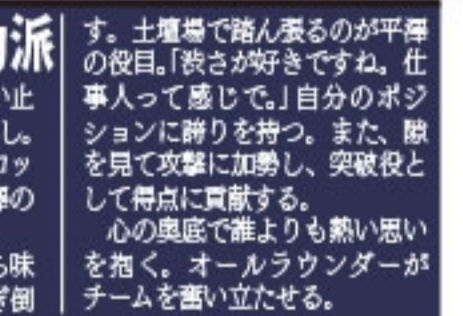
1998年5月23日  
 大分舞鶴高校  
 170センチ・93キロ  
 政策学部2年  
 誰とでも話せる

**人羅 奎太郎**  
**SH**  
 力を生かすパスをつなげる。自在にボールを操る姿はフィールドの支配者だ。



1998年12月11日  
 大阪府・東海大仰星高校  
 166センチ・77キロ  
 社会学部2年  
 よく笑うところ

**平澤 輝龍**  
**LO**  
 タックルで敵の進軍を食い止める。地道な活躍の繰り返し。「ロックは目立たない。でもロックがいないと勝てない」。平澤の仕事は「勝利」ではない。攻守共に長けた男だ。持ち味の鋭いタックルで相手をなぎ倒す。土壇場で踏ん張るのが平澤の役目。「勝たなきゃダメ。仕事人って感じで」。自分のポジションに誇りを持つ。また、隙を見て攻撃に加勢し、突破役として得点に貢献する。



1996年12月20日  
 群馬県・前橋育英高校  
 183センチ・105キロ  
 神学部3年  
 面白い所

**テンポで裁く攻撃軸**  
 巧みに繰り出す絶妙なテンポのボール蹴き、小柄ながらも身体を張るプレイは得点の起点だ。苦しい時こそ声を出し、ベンチでさえ笑顔と絶やさず。彼の声でチームも選手も上を向く。強みであるコミュニケーション

**テンポで裁く攻撃軸**  
 巧みに繰り出す絶妙なテンポのボール蹴き、小柄ながらも身体を張るプレイは得点の起点だ。苦しい時こそ声を出し、ベンチでさえ笑顔と絶やさず。彼の声でチームも選手も上を向く。強みであるコミュニケーション

**テンポで裁く攻撃軸**  
 巧みに繰り出す絶妙なテンポのボール蹴き、小柄ながらも身体を張るプレイは得点の起点だ。苦しい時こそ声を出し、ベンチでさえ笑顔と絶やさず。彼の声でチームも選手も上を向く。強みであるコミュニケーション

**テンポで裁く攻撃軸**  
 巧みに繰り出す絶妙なテンポのボール蹴き、小柄ながらも身体を張るプレイは得点の起点だ。苦しい時こそ声を出し、ベンチでさえ笑顔と絶やさず。彼の声でチームも選手も上を向く。強みであるコミュニケーション

**テンポで裁く攻撃軸**  
 巧みに繰り出す絶妙なテンポのボール蹴き、小柄ながらも身体を張るプレイは得点の起点だ。苦しい時こそ声を出し、ベンチでさえ笑顔と絶やさず。彼の声でチームも選手も上を向く。強みであるコミュニケーション

**テンポで裁く攻撃軸**  
 巧みに繰り出す絶妙なテンポのボール蹴き、小柄ながらも身体を張るプレイは得点の起点だ。苦しい時こそ声を出し、ベンチでさえ笑顔と絶やさず。彼の声でチームも選手も上を向く。強みであるコミュニケーション

**南野 仁**  
**FB**  
 フィールドの最後方から大きな声が響き渡る。常に仲間を鼓舞し、チームに悪い流れを寄せ付けぬ。日々の練習でもムードメーカーの役割を担い、全力でチームを盛り上げてきた。



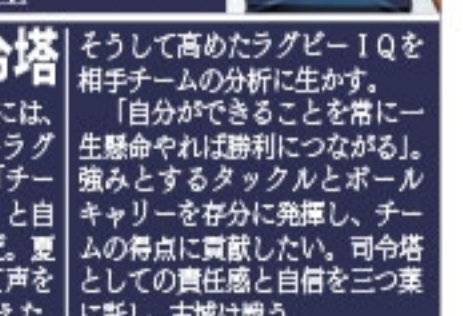
1997年7月30日  
 大阪府・同志社香里高校  
 173センチ・81キロ  
 商学部3年  
 可愛い笑顔

**チーム1の元気印**  
 3年になるまでは、試合に出られず不遇の日々を過ごした。だが、苦しい状況でも心を折らずに練習を重ねた結果、得意のステップでトライを決めるまでに成長した。「努力が報われてきたことが今の自分につながっている」。苦境を乗り越えてきた男がチームへの明るさで最終戦での勝利を呼び込む。



1997年7月30日  
 大阪府・同志社香里高校  
 173センチ・81キロ  
 商学部3年  
 可愛い笑顔

**古城 隼人**  
**SO**  
 ゲームメーカーのSOには、戦術眼はもちろん、高いラグビー理解度が求められる。「チームを勝たせるポジション」と自身で語るほど重要な役割だ。夏休みはメンバーに率先して声をかけ、アタック方法を考えた。



1996年5月22日  
 福岡県・修猷館高校  
 174センチ・85キロ  
 スポーツ健康科学部3年  
 生え際

**栗原 勘之**  
**PR**  
 激しいタックルで相手を仕留め、すぐさまボールを奪う。密集では盾となり仲間を守る。泥臭くボールに絡みに行く姿は、まさにいよゑん。フランカーとしての役割を完璧にこなす。「チームのために1番手を張っている自信は」



1998年8月10日  
 兵庫県・舞鶴学園高校  
 174センチ・106キロ  
 経済学部2年  
 ハスキーボイス

**黒澤 桂**  
**PR**  
 激しいタックルで相手を仕留め、すぐさまボールを奪う。密集では盾となり仲間を守る。泥臭くボールに絡みに行く姿は、まさにいよゑん。フランカーとしての役割を完璧にこなす。「チームのために1番手を張っている自信は」



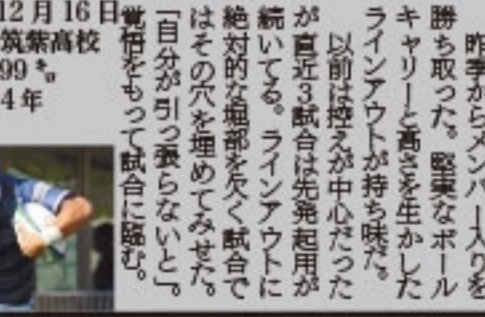
1996年8月4日  
 埼玉県・深谷高校  
 185センチ・115キロ  
 社会学部4年  
 笑顔

**中村 海輝**  
**PR**  
 激しいタックルで相手を仕留め、すぐさまボールを奪う。密集では盾となり仲間を守る。泥臭くボールに絡みに行く姿は、まさにいよゑん。フランカーとしての役割を完璧にこなす。「チームのために1番手を張っている自信は」



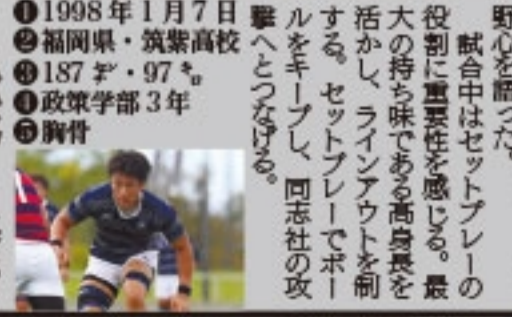
1996年8月9日  
 大阪府・早稲田大学附属高校  
 173センチ・105キロ  
 経済学部3年  
 笑顔

**野中 翔伍**  
**LO**  
 タックルで敵の進軍を食い止める。地道な活躍の繰り返し。「ロックは目立たない。でもロックがいないと勝てない」。平澤の仕事は「勝利」ではない。攻守共に長けた男だ。持ち味の鋭いタックルで相手をなぎ倒す。土壇場で踏ん張るのが平澤の役目。「勝たなきゃダメ。仕事人って感じで」。自分のポジションに誇りを持つ。また、隙を見て攻撃に加勢し、突破役として得点に貢献する。



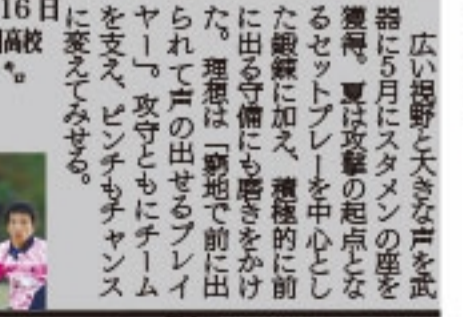
1996年12月16日  
 福岡県・筑紫高校  
 188センチ・99キロ  
 社会学部4年  
 笑顔

**松野 泰樹**  
**FL**  
 巧みに繰り出す絶妙なテンポのボール蹴き、小柄ながらも身体を張るプレイは得点の起点だ。苦しい時こそ声を出し、ベンチでさえ笑顔と絶やさず。彼の声でチームも選手も上を向く。強みであるコミュニケーション



1998年1月7日  
 福岡県・筑紫高校  
 187センチ・97キロ  
 政策学部3年  
 胸骨

**橋本 一真**  
**HO**  
 ロックからフランカーへ転向。試合に出られたらあんなに嬉しいことはない。スタメンへの野心を語る。



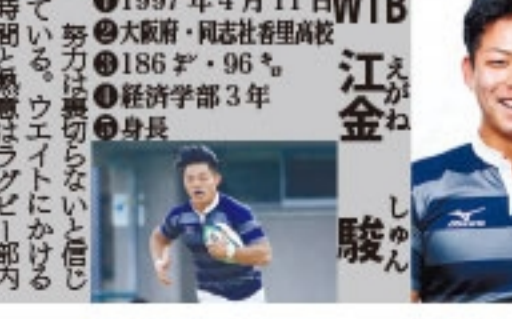
1997年6月16日  
 大阪府・常翔学園高校  
 178センチ・103キロ  
 商学部3年  
 声が大きい

**山本 雄貴**  
**WTB**  
 激しいタックルで相手を仕留め、すぐさまボールを奪う。密集では盾となり仲間を守る。泥臭くボールに絡みに行く姿は、まさにいよゑん。フランカーとしての役割を完璧にこなす。「チームのために1番手を張っている自信は」



1998年3月25日  
 京都府・同志社高校  
 177センチ・86キロ  
 商学部3年  
 すきっぴり

**江金 駿**  
**WTB**  
 激しいタックルで相手を仕留め、すぐさまボールを奪う。密集では盾となり仲間を守る。泥臭くボールに絡みに行く姿は、まさにいよゑん。フランカーとしての役割を完璧にこなす。「チームのために1番手を張っている自信は」



1997年4月11日  
 大阪府・同志社香里高校  
 186センチ・96キロ  
 経済学部3年  
 身長

**原田 健司**  
**SH**  
 力を生かすパスをつなげる。自在にボールを操る姿はフィールドの支配者だ。



1997年10月29日  
 福岡県・修猷館高校  
 171センチ・81キロ  
 心理学部3年  
 大きくて綺麗な目

レポート 藤川 大